

問 高齢者の予防接種について問う。

答 高齢者（満65歳以上）のインフルエンザワクチンを令和5年度は有償（1500円負担）で実施し、接種者は令和4年度比で約15%減少した。肺炎球菌ワクチン接種の対象者数は881人、接種者は166人であった。接種予診票送付と LINE でのご案内を実施した。

問 子どもの居場所づくり事業として、町内に6か所あるフリースペースの利用状況を問う。

答 利用者合計607人中601人が1施設に集中している。令和6年度は夏休みこども食堂を開催し、他の施設も来場者が増加しているので、引き続き利用促進を図っていく。

問 民生児童委員の活動状況について問う。

答 見守り活動や地域住民の相談役として、活動日数が年々増えている（令和2年度：4662日、令和5年度5639日）。令和5年度から新たに委員活動費（1万円 / 人）の補助を行った。活動費は町から民生委員児童委員協議会へ一括で支払い、協議会から各委員へ渡している。

問 シルバー人材センターの稼働状況について問う。

答 登録人数は59名、受注件数は365件、利用内容は主に除草、清掃や施設管理などの軽作業である。報酬は最低賃金の上昇に合わせて増加している。

産業建設部（地域振興課・地域整備課）

問 産業立地促進事業の企業アンケートの対象について問う。また、今後はどのような動きになっていくのか問う。

答 北摂、北河内、東大阪の製造業で従業員が20名以上の企業にアンケートを送り、大阪府内で移転可能と答えた企業は48社。今後は、地権者の意向を確認しながら、地権者組織である協議会を作り、民間企業が事業として検討できるデベロッパーを募集し、何年後にこういうことができるというPRをしていく。

問 シカ、イノシシの生息数が増加しているが、新しい取組みは考えているのか問う。

答 捕獲等については考えていないが、以前より負担となっていた個体処分については、猟友会との協議の上、有害鳥獣で捕獲された個体についても必要に応じて町の負担で処分し、負担軽減を図っていく。

問 森林整備事業で行っている伐採に関する費用について、土地所有者の負担はあるのか問う。

答 現在町道の沿道で行っている支障木伐採については、公共性の観点から所有者への負担は求めている。森林整備事業で森林環境譲与税を利用していくことは、民有林の防災の観点を含めて行っているが、今後検討が必要になると考えている。

問 町道は、令和4年度から修繕箇所が減っているが、金額が上がっている。その要因について問う。

答 各施工箇所において、前年度行っているよりも大きな工事を行ってきた。また、施工規模の大きな工事について過疎債の対象になるということで、事業費を追加した。

問 おおさかのてっぺんフェスティバル事業の開催について、来場者数や売上金額の目標はあったのか問う。

答 目標人数は定めていなかったが、コロナ禍で中止期間もあり減少したと考えている。今後継続することで、てっぺんフェスティバルを知っていただき、来場者を増やしたい。町としては物産の周知を目的としており、個別の出店者の売上については把握していない。

問 町外の業者が出店する可能性はあるのか問う。

答 町としては、まちの魅力を発信するイベントであるので、町内事業者に限定して参加いただいている。

問 新規就農者育成総合対策事業対象者2名の現状について問う。

答 地域振興課及び、大阪府農の普及課で面談を行い、経過を確認した。今のところ、当初の計画通り進んでいる。